学校番号	T0110

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2 単位	年次	4 年次
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・卒業を控えた最終学年として、高校生活の集大成となるべく、生涯を通じて運動を楽しむことができるよう、体育の授業を通して運動する・見る・支える・調べるといったことを学び、自分に合った運動やスポーツライフを考えていこう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を仲間と一緒に味わい、分かち合おう。

2　学習の到達目標

・心と体を一体としてとらえ、健康・安全に留意して運動する態度を育てる。
・各種目の運動を通じて、体力の向上・基礎的な技術の向上を図り、運動の楽しさや喜びを味わう。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育て、運動の場面だけでなく日常生活に生かすなどライフステージと健康についての知識や理解を深め、適切に判断する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動することの楽しさや喜びを味わおうとする。 集団の中の一員として行動し、協調性を持って運動に取り組むことができる。	知識を活用し、技能向上につなげる。 学習で得た知識を活かし、自ら応用して他の運動や生活に活かす。	各種目の技術・技能を身につけ、試合に活かすことができる。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむことができる。	各種目の特性やねらいを把握する。 積極的に学ぶ姿勢を養い理解を深める。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート	ノート レポート 体育理論のテスト	技能観察	ノート レポート 体育理論のテスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	体つくり運動	オリエンテーション 体力測定(新体力テスト)	○	○			a:自己の体力に向き合い、健康・安全を確保して運動に主体的に取り組もうとしている。 b:自己の体力と向き合い、自らの課題に応じた運動の取り組み方などを工夫している。	受講態度の観察 レポート
	球技	選択(以下2種目より) ・ソフトボール ・バスケットボール	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように、運動に主体的に取り組もうとしている。 b:安全に留意しながら、技能の向上に挑戦している。 c:各種目のねらいや特性を理解し実践することができる。 d:自己の体力を把握し、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート
	体育理論	運動・スポーツの文化的特徴 ・人間にとって動くとは何か ・スポーツの始まりと変遷 ・スポーツ文化の楽しみ方 ・オリンピックと国際理解 ・スポーツと経済 ・ドーピングとスポーツ倫理	○	○		○	a:スポーツの歴史や文化的特性、経済的な観点などを学ぶことに主体的に取り組むもうとしている b:授業の内容に対して必要な情報を比較したり分析したりして自分の考えをまとめる。 d:授業の内容に関して自分の考えを発表したり、書き出したりしている。	受講態度の観察 レポート 体育理論のテスト

後期	球技	男女 選択（以下2種目より） ・バレーボール ・テニス 選択（以下2種目より） ・バドミントン ・卓球	○	○	○	○	a：球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、主体的に活動することができる。また、周囲の仲間と協力して運動し、お互いを讃えることができる。 b：生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c：各種目の基礎・基本的な技術を身につける。 d：各種目の技術や技の名称、ルールなどを理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート
	陸上競技	陸上競技 長距離走	○	○	○		a：長距離走の意義を理解し、主体的に取り組もうとしている。 b：生涯にわたって運動を実践していくための、自己の課題に応じた取り組み方を工夫している。 c：各自の体力に合わせた目標を設定し、記録の向上を目指す。	受講態度の観察 技能観察 レポート

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断
　　c：運動の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。